

令和5年度 市長のタウンミーティング（会場：クロスベイ新湊）

日時 7月24日（月）午後7時30分～午後9時

会場 クロスベイ新湊 iCN ホール

出席者 夏野市長、磯部副市長、金谷教育長、小塚企画管理部長、
北財務管理部長、長谷川市民生活部長、小見福祉保健部長、
塩谷産業経済部長、小川都市整備部長、南上下水道部長、
久々江教育委員会事務局長、宮本市民病院事務局長、竹内消防長、
渡邊会計管理者、片口監査委員事務局長、杉本企画管理部次長、
網政策推進課長、森田未来創造課長（司会）

参加者 33名

○ 質疑応答

発言者1【放生津 男性】

○ 空き家対策について提案したいことがある。私のまちは、重点密集再開発事業の対象区域である。具体的な対象区域は、奈呉町、中町、山王町、四十物町の4つのまちであり、日頃から自治会長同士で集まり、意見交換をしている。その中で出ている意見を1点紹介する。

空き家の再利用は難しいが、住み替えは有効的ではないだろうか。例えば、私のまちには65世帯があり、空き家は2軒である。以前から住んでいる方がおらず、再利用をするには建て替えるか更地にする必要がある。そこで考えたのが、高齢の一人暮らしの方にワンルームに住み替えていただくということだ。この提案に対し、65軒中7軒、7人の高齢者が住み替えの機会があれば、広く一人で暮らすにはもったいない家から引っ越し、空き家にする回答した。もし可能であれば、現在、高齢者が住んでいるお宅を新しい方が住むことができるお宅として、活用することができるのではないか。

私たちの地域には空き室のある集合住宅が多く、高齢者が住み替えできるワンルームがある。そこに入居できる対策を講じていただければ、空くこととなる家が、内川沿いに起業や居住を希望している方の受け皿になると思う。

すでに、建築住宅課、河川・港湾課、地域包括支援センターの職員に説明をしており、職員は理解し、提案に賛成・納得もしてくださるが、それ以上の進展がない。この提案に対する、法的な壁があるかもしれないが、そこを解決出来るのは市長である。ぜひ、この地域をモデルとして取組みを進め、県内のみならず日本中にこの提案が広がるようにしていただきたい。空き家が、住んで

いる人・利用する人にハッピーな方策になるようにしてほしい。

回答【市長】

- 住み替えの取組は、これまでも議会で話があったと記憶している。都会では、「リバースモーゲージ」という、金融機関がお金を出しながら住み替えを行っていくという具体的な事業があるが、地方だと難しいのが現状である。

また、住み替えたことによって家をどのように活用するかという課題がある。移住定住をさらに活性化させていくような体制づくり、関係者との連携について検討しているところである。使える物件がないか依頼が来る流れが円滑になれば、空いた家を若い世代などに使っていただくことにつなげていけると思う。様々な課題を整理しながら、空き家の活用が上手くいくように取り組んでいきたい。

発言者2【放生津 男性】

- 総合計画の「ライフステージ：生まれる・育つ・学ぶ」の部分で、高等教育機関の設置促進がある。射水市がある大学と提携していることに関して、進捗状況とサテライトキャンパスの規模を教えてください。
- 私も空き家対策には、関心がある。空き家は解体しなくてはいけない状態で、やむを得ず解体する。解体費用について、解体する家の条件によって算定され、補助が受けられると聞いている。その一方で、解体されることとなった両隣の家への補修に対する補助がなく、解体した側も法的には両隣への補償義務がないと聞いている。解体費用と隣の家の補修を合わせると、高額な金額になることから、改善されるように検討していただきたい。

回答【市長】

- 高等教育機関の誘致については、CoIU（コーアイユー：Co-Innovation University(仮称)）という大学で検討中である。CoIUは、岐阜県飛騨市に本拠地を置く大学で、学生がいろいろな全国の都市で研究テーマをもって、自身の研究をしながら学びを深めるスタイルを採用している。

射水市はその一つで、医療と福祉、ウェルビーイングを組み合わせた研究のフィールドとして学んでいただくことになっている。進捗状況としては、これから大学の設置申請をされるという段階である。構想段階であり、具体的なことはまだ決まっていない。設置のスケジュール等はこれから本格化していく予定である。

サテライトキャンパスについて、CoIU でどのくらいになるかは不明である。イメージとしては、学生で10数名程度、その他社会人の参加も想定されている。サテライトキャンパスは、本体は東京などの県外にあるが、学生の皆さんが都会のキャンパスでは学べないことを地方で学んで、研究して自らを高めていくことが目的と考えている。射水の良さをアピールし、他大学にも働きかけをしていきたい。

- 解体費用の補助は、国の補助を財源の一部に使っており、隣の家に対する補修は対象外となっている。そこを市としてどうするか判断は、実態を踏まえて検討させていただきたい。